

## 採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	奈良女子大学
拠点のプログラム名称	古代日本形成の特質解明の研究教育拠点
中核となる専攻等名	人間文化研究科比較文化学専攻
事業推進担当者	(リーダー) 館野和己 教授 外19名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>本研究教育拠点は、古代日本の形成過程とその特質の解明に、古代国家・文化が誕生した奈良の地に基盤を置きつつ、古代都市をキーワードにして、迫ろうとするものである。そのため、古代都市の前史、古代都市の実態、古代日本の言語文化、東アジアの古代都市、近代日本の古代史像、研究成果の電子メディア化という6つの研究分野を設定し、研究の推進と総合を図る。</p> <p>実施にあたっては、歴史・考古学のみならず、地理・文学・言語・建築・景観・生活文化など、多くの関係分野の総合的研究を組織し、特に木簡・遺跡・遺構などの発掘資料を駆使することで、各学問分野の個別分散化状況を乗り越え格段の研究推進を図る。また奈良文化財研究所・奈良国立博物館・正倉院事務所からの客員教員を含め、多くの文化財関係機関と連携し、国内外の研究機関・研究者とも交流し、それらの連携拠点としての機能をも持たせ、古代日本研究の総合センターとしての革新的研究教育拠点形成をめざす。研究には大学院生が参加するとともに、成果は教育のみならず社会連携・貢献にも還元する。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の特殊性と大学の特徴を活かした主題を選択している。古代都市社会を多面的に分析しようとする諸分野の協力体制もよく考慮して構成されている革新的な研究であって、堅実な成果が期待できる。</p>	
<p>&lt;革新的な学術分野であるポイント&gt;</p> <p>考古学と歴史学だけでなく、国語学・国文学、地理学、生活文化史など諸学の統合により、奈良という地理的特徴を生かして古代日本の形成過程とその特質を解明し、古代学を体系化しようとする点で、革新的な学術分野の開拓を目指す拠点形成計画である。</p>	